

田代小中学校 育ちの道しるべ

平成28年度版

学校目標：自分の考えを自信をもって表現できる児童生徒の育成～挨拶・返事・行動・感謝～

小学校副題：自ら学び、いきいきと表現する子どもの育成

中学校副題：学習課題を的確にとらえ、論理的に考え、自信をもって表現・伝達させる授業づくり
～統合を見据え「伝え高め合う」ことを重視した言語活動の充実をとおして～

校種		小学校						中学校			9年間 で育てたい 子ども像		
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生			
発達 の特 徴	言語 領域	・「（大人のように）働く」という言葉を好む。 ・物事を説明するのが好き。 ・乱暴なかつ勢いで言いがちな言葉遣い。 ・何かにつけ不平を言う。	・話をよく聞き、正確に話そうとする。また、1対1の会話を好む。 ・語彙が急速に広がり始める。 ・言葉の意味に関心をもち始める。 ・短いメモを取ることを好む。	・話し好きの傾向が強まってくる。 ・相手の話を聞いてはいるが、思いつくことが多すぎて、言われたことを思い出せるとは限らない。 ・少し大げさに物事を表現する。	・語彙を増やすこと、言葉遊びや情報を好む。落書きをする。 ・時々、赤ちゃん言葉に戻る。 ・やや誇張した言い方や否定的な言葉遣いをする。 ・下品な冗談を言うようになる。	・よく話を聞き、相手の言うことを前向きに受け取る。 ・読書意欲が高まる。 ・表現力が豊かになり説明を好む。 ・協力的であるとともに、競争的になる。 ・人なつこく、概してにこやか。	・衝動的であり、考えるより話し出すことが先になる。 ・冷たい感じになる可能性がある。 ・議論好きになり論争を好む。 ・ユーモアが理解し、大人の言葉遣いをまねる。	・大人や仲間との会話に積極的に参加し、会話を楽しむようになる。また、時として皮肉や嫌味を言い出す。 ・会話の中で、言葉の両義性、言葉遊び、ユーモアを交えた冗談を言うようになる。 ・仲間内の「用語」（短縮した流行語）等を大切にするようになる。	・大人の質問に一語で返事する。（最小限の反応で済ませる） ・街ではやりの言葉や仲間内の言葉を大切にする。 ・親子関係が気まづくなると、極端な言葉遣いをしたり、ひどい大声を出す。 ・男女とも言葉が荒っぽくなる。	・仲間内の話し方や語彙を大事にするが、大人に対する口の利き方についても学びつつある。 ・グループ討論をさせると意欲的に参加する。 ・言葉の意味に関心を示す時期であり、より広く語彙を発展させることができる。 ・意味もなく声を張り上げて会話をする。			
	認知 領域	・すぐに、何にでも質問する。 ・自分の発見から最もよく学ぶ。 ・仕上げることよりも作る過程を楽しむ。 ・自分ができること以上に多くのことを試したがる。	・復習するのを好む。 ・終わりを求める。課題を完成させなくては気が済まない。 ・時間をかける作業を好む。 ・本を読んでもらうのを好む。 ・身近な出来事に対して振り返りの力が増す。	・手元の作業に没頭する。作業しながら友達と接することを好む。 ・集団で行動・活動することを好む。 ・読み書き・計算などの基礎技能が習得され始める。	・勤勉で自己批判的である。 ・空想的でなくなり現実的になってくる。 ・知的好奇心が旺盛になる。 ・複数の要素を一度に扱う能力が現れ始める。 ・抽象的概念に苦戦する。	・どんどん記憶できる生産的な暗記力が増す。 ・抽象的な理解や表現する能力が増す。 ・関心のあるものを分類・収集する、系統立てることを好む。 ・長い時間、集中できる。	・新しい作業や経験を好む。 ・抽象化ができる。 ・法則を立て修正しながら進めることができる。仮説を発展させることができる。 ・いろいろな角度から世界を見ることができるようになる。	・物事を抽象化する能力が高まってくる。 ・特定の技能（運動能力、演技力等）または内容領域（リーダー性等）において、急に能力を発揮し始める。 ・一つの議論に対して、賛否両論の立場について理解できるようになる。 ・最近の出来事、政治、社会正義に高い関心を示す。また、流行の文化、ものの豊かさにも高い関心をもつ。	・発達途上の自己概念と知的概念が十分に発達していない。控えめで感じやすい性質はそれを保護している兆候である。 ・一部の生徒は、抽象的な推理や形式的操作がすらすらできるようにもなり始める。 ・知的で難しい課題には、試し試し慎重に取り組む傾向が見られる。学習上の大きなリスクを取りたがらない。 ・社会的権威だけでなく知的権威にも挑戦したがる。	・抽象的な推論を好む。特に因果関係に関する推論が得意である。 ・自分から進んで間違いを認め、修正したり、新たに挑戦したりする態度をもち合わせる。 ・より大きな世界の問題に気づくようになり、解決策を探ったり、多くを学ぶようとする意欲が見られる。 ・社会の科学技術や物事の仕組みに関心を示すようになる。 ・学業上の課題によく反応して取り組むが、すぐに諦める傾向が見られる。			
書く 力	国英	○想像したことを文章に書くことができる。 ○経験したことを報告する文章や観察したことを記録する文章などを書くことができる。		○身近なこと、想像したことなどをもとに、詩を作ったり、物語を書いたりできる。 ○疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりできる。 ○収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くことができる。 ○目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くことができる。 ○実験観察や資料の読み取り、わかったことを短い文で書き出すことができる。			○経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句を作ったり、物語や随筆などを書いたりする。 ○物事のよさを伝えるための文章を書く。			○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。（国） ○伝える内容を整理し、相手に応じて表現を工夫して書くことができる。（国） ○自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。（英） ○自分の考えや思いを今までの知識と関連づけてまとめることができる。（国・英）			
	社数理	○身近な事物を簡単に説明する文章などを書くことができる。 ○紹介したいことをメモにまとめたり、文章に書いたりできる。					○自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりできる。 ○物事の様子を多くのの人に伝えるために図や文章で表すことができる。			○結果や原因を論理的な文章で書き表したり、レポートにまとめることができる。（社・数・理） ○事象や変化を、適切な文章や図解、図表を用いて書き表すことができる。（社・数・理） ○資料や実験結果の中に関係性や規則性を見出して挙げるすることができる。（社・数・理）			
	音美保技	○伝えたいことを簡単な手紙に書き表すことができる。		○見たこと、感じたことを文章に書く。 ○友達の作品や技を見て気づいたことをメモする。			○見たこと、感じたことを自分なりに分析して文章に書く。 ○自分や友達の作品、技を見て気づいたことをメモする。			○気づいたことやイメージしたことを理由づけて、言葉や図で書き表すことができる。（音・美・保・技） ○対象をよく見て、的確な技法で描くことができる。（美・技）			
話す 力	国英	○事物の説明や経験の報告をしたり、それらを聞いて感想を述べたりする。 ○尋ねたり応答したり、グループで話し合って考えを一つにまとめる。 ○場面に合わせてあいさつをしたり、必要なことについて身近な人と連絡を取り合ったりする。 ○知らせたいことなどについて、身近な人に紹介したり、それを聞いたりする。		○出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりする。 ○学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べたりする。 ○図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりする。			○良い点を紹介したり、それを聞いたりする。 ○調べたことやまとめたことについて討論などをする。			○構成を工夫して話すことができる。（国・英） ○話題の方向性をとらえたり、相手の立場や考えの違いを尊重して話し合うことができる。（国・英） ○課題の解決に向けて、相手の様子を確認しながら話し合うことができる。（国・英）			
	社数理						○資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりする。 ○調べたことやまとめたことについて討論をする。			○結果や結論を筋道立てて説明できる。（社・数・理） ○教科書や新聞記事のような論説文を淀みなく音読することができる。（社・数・理） ○見出した規則性を用いて、現象を説明することができる。（社・数・理） ○結果や結論を筋道立てて説明できる。（社・数・理）			
	音美保技			○見たこと、感じたことを素直に話す。 ○友達の作品や技を見て気づいたことを話したり、アドバイスしたりする。			○見たこと、感じたことを根拠を明確にして話す。 ○自分や友達の作品、技を見て気づいたことを話し合う。			○生活や技能向上を目指して、自分の考えや思いについて他者と意見交流することができる。（音・美・保・技）			
家庭でできる「学ぶ力」を育てる活動		○音読する。（家の人に聞いてもらう） ○読書をする。（物語を自分で読む。家の人に読んでもらう。） ○家の人に宿題をチェックしてもらう。 ○日記を書く。 ○学校での出来事や、友達と遊んだことなどを家の人に話す。（いつ、どこで、誰と、何を…） ○年賀状を書く。		○音読する。（家の人に聞いてもらう） ○読書をする。（物語・科学・知識【○○の秘密】・昔話） ○学校図書館や公立図書館を利用する。 ○家の人に宿題をチェックしてもらう。 ○詳しく日記を書く。 ○一日の様子について家族で話題にする。 ○社会の出来事を知る。 ○年賀状を書く。			○音読する。（家の人に聞いてもらう） ○読書をする。（物語・科学・伝記・知識・【○○の秘密】・昔話） ○学校図書館や公立図書館を利用する。 ○自分で課題を見つけ、一人勉強で取り組む。 ○一日の様子について、家族で話題にする。（新聞やテレビ等のニュースを含む） ○社会の出来事に関心をもち、家族で話題にする。 ○テーマに沿った日記や文章を書く。			○同じニュースについて内容や感想を話し合う。 ○手順や順序を相談しながら、一緒に掃除や洗濯をする。 ○相手に合わせて、手紙を書く。 ○家族で趣味をもったり、特技を伸ばしたりする活動に参加する。 ○家庭での過ごし方（学習時間の確保・家庭でのルール）を相談したり決めたりして、見通しをもって過ごす。 ○災害に遭ったときの対応の仕方について話し合う。 ○防災備品の保管場所と使い方について話し合う。 ○将来の生き方や仕事について話し合う。			
チェック		□短い文で日記が書ける。 □簡単な手紙や年賀状が書ける。 □その日の出来事を家族に話すことができる。		□詳しく日記が書ける。 □目的にあった手紙や年賀状が書ける。 □その日の出来事を家の人にわかるように話すことができる。			□自分を振り返って日記が書ける。 □目的に合わせて工夫した手紙や年賀状が書ける。 □新聞やニュースで知った出来事について、自分の考えを話せる。			□相手を納得させるように、根拠を示して自分の考えを話すことができる。 □時と場に応じた話し方ができる。 □目上の人や、お世話になった方への手紙の形式を知り、場面によって書き分けることができる。 □新聞やニュースの内容について大人と話し合うことができる。			

目的や意図に応じて、自分の考えを豊かに表現できる子ども

※表中の教科は中学校での名称で示しています。小学校の生活科は社・理、外国語活動は英、図工は美、体育は保、家庭科は技の欄に関連づけてご覧ください。